

平成29年度
事業報告書

社会福祉法人息吹

平成29年度社会福祉法人息吹事業報告

《総括事項》

1 日中活動系事業について

もみじの家の課題と法人全体の利用者の状況を考慮して、平成29年4月からもみじの家を就労継続支援B型から生活介護に事業転換した。それまで法人が運営する日中活動系事業は、地域活動支援センターと就労継続支援B型だけであり、就労系支援が中心であったが、生活介護事業を加えたことにより利用者の選択肢が増え、幅広い利用者層に対応できるようになった。

2 グループホームについて

29年度末に2名の退居が相次いで決まったため、退居手続きと退居後の新たな生活が円滑に実現できるよう集中した支援を行った。新たな入居者選考については、障害者の自立に向けた訓練の場や社会的入院者の退院先の受け皿といった共同生活援助(グループホーム)の目的を踏まえつつ、既入居者との関係性に配慮することが重要である。

利用者の高齢化にともなう健康管理面の課題が顕在化してきており、栄養バランスのとれた食事メニューへの改善や、医療機関との連携に取り組みを進めた。

3 業務のアウトソーシングについて

あっとほーむ配食サービスのうち弁当配達業務については、利用者による盛り付け作業から配達完了までを遅くとも正午までに完了しなければならず、交通事情等を考慮して職員単独によるバイク配達など工夫することで迅速な対応に努めてきたが、弁当受注量が安定している一方で、職員体制確保が困難な状況が課題となっていた。利用者の相談体制などの基幹業務に支障をきたさないために、利用者への直接支援がないバイク配達業務について、外部委託することで支援体制を充実させる方策を検討した結果、平成30年4月から配達業務の一部を外部委託することとした。

4 利用者及び家族の高齢化について

少子高齢化の影響は、精神障害者の日常生活及び社会生活に多様な問題となって表れている。当法人が事業運営のなかで認識している課題としては、精神障害当事者本人の高齢化、家族の高齢化によって家族が担えなくなった本人への支援体制の変化、逆に家族の高齢化によって家族への家事や介護などを本人が担うこ

との負担や不安の高まりの3点に整理できる。

こうした課題への対応としては、本人や家族のニーズに基づきながら、障害福祉サービスだけでなく高齢福祉サービスや民生委員児童委員、その他の地域のインフォーマルサービスを活用しつつ、成年後見制度を始めとした権利擁護の制度も含めて柔軟に取り組んでいく必要がある。

5 地域交流啓発に関する取組みについて

24年度から萱野北小学校で実施している精神障害者理解促進事業ハートパークについては、萱野北小学校で6年連続の開催となった。事業内容については、大きな変更は無く、定着した形となっている。また地域向けの事業として、1月に発達障害の学習会を実施した。

《事業別報告》

1 理事会・評議員会開催状況

(1)理事会開催状況(全4回)

第1回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時:平成29年5月29日(月) 午後2時10分から

第1号議案 福祉・介護職員処遇改善加算一時金及び職員処遇改善一時金の支給に関する規程一部改正の件

第2号議案 理事長専決事項等に関する規則一部改正の件

第3号議案 経理規程一部改正の件

第4号議案 役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の件

第5号議案 平成28年度社会福祉法人息吹事業報告及び決算の件

報告第1号 理事選任報告の件

報告第2号 評議員選任報告の件

第6号議案 役員選任の件

第7号議案 評議員選任・解任委員選任の件

第8号議案 福祉サービス苦情解決委員選任の件

第2回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時:平成29年6月12日(月) 午後3時00分から

第9号議案 理事長選任の件

第3回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時:平成29年11月27日(月) 午後2時00分から

第10号議案 就業規則全部改正の件

第11号議案 職員等育児・介護休業等規程制定の件

第12号議案 就業規則全部改正に伴う職員給与規程及び旅費規程一部改正の件

第13号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくもみじの家(生活介護)運営規程一部改正の件

第14号議案 平成29年度社会福祉法人息吹補正予算(案)の件

第15号議案 社会福祉法人息吹施設長選任の件

第4回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時:平成30年3月19日(月) 午後2時00分から

第16号議案 経理規程全部改正の件

第17号議案 平成29年度社会福祉法人息吹補正予算(案)の件

第18号議案 平成30年度社会福祉法人息吹事業計画(案)及び予算(案)の件

第19号議案 評議員選任・解任委員選任の件

(2)評議員会開催状況(全1回)

定時評議員会

開催日時:平成29年6月12日(月) 午後2時00分から

第1号議案 役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程制定の件

第2号議案 平成28年度社会福祉法人息吹事業報告及び決算の件

第3号議案 役員選任の件

2 地域交流啓発事業及び全体事業

5月7日(月) みの1グランプリ出店(シェスタ)

5月13日(土) 春のバザー出店

5月26日(金)息吹合同レク・バーベキュー大会(服部緑地)

6月13日(火) ハートパーク(萱野北小学校ワークショップⅠ)

6月21日(水)~23日(金) ハートパーク(萱野北小学校もみじの家施設体験)

7月2日(日) 南小学校「みなみパワフルランド」出店

7月7日(金) ハートパーク(萱野北小学校ワークショップⅡ)

7月14日(金) みのおライフプラザ夏まつり出店

7月22日(土)~7月23日(日) 箕面地区納涼の夕べ出店

7月29日(土)~7月30日(日) 箕面まつり出店

- 8月18日(金) あかつき福祉会納涼祭出店
- 9月8日(金)～9月9日(土) 息吹一泊旅行(鳥取方面)
- 9月22日(金) 息吹合同レク・焼きそばパーティー(もみじの家)
- 12月7日(木) こころの会交流会
- 12月22日(金) みのおライフプラザ冬まつり出店
- 1月20日(土) ハートパーク(北小会館・発達障害に関する学習会)
- 2月3日(土) もみじの家地域交流祭「いっぷく」
- 3月23日(金) 息吹合同レク・カーリングなど(もみじの家)

3 ボランティア・見学・実習の受入れ

(1) ボランティア・見学・実習の受入れ状況

| | |
|---------------------|-----|
| ボランティア受入れ延べ人数 | 35人 |
| 学校関係体験実習受入れ延べ人数 | 42人 |
| 利用見学及び実習受入れ延べ人数 | 61人 |
| 関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数 | 75人 |
| 精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数 | 27人 |

(2) 主な見学及び実習の受入れ機関等

箕面市、箕面市新規採用職員研修、箕面市職員福祉体験研修、箕面市立萱野北小学校、精神保健福祉ボランティアこころの会、民生委員・児童委員、大阪バイオメディカル専門学校、大阪健康ほいく専門学校、花園大学、藍野大学短期大学部

4 会議への派遣

- ・(社福)あかつき福祉会評議員会
- ・(社福)あかつき福祉会 グループホーム運営委員会
- ・(財)箕面市障害者事業団採用検討委員会
- ・(財)箕面市障害者事業団理事会
- ・(財)箕面市障害者事業団評議員会
- ・(財)箕面市障害者事業団自主事業運営委員会
- ・箕面市障害者市民施策推進協議会
- ・箕面市地域自立支援協議会運営会議
- ・箕面市地域自立支援協議会相談支援部会
- ・箕面市地域自立支援協議会地域移行・定着支援部会
- ・箕面市地域自立支援協議会権利擁護部会
- ・箕面市地域自立支援協議会障害者就労系通所事業所 情報交換会
- ・アンテナショップ運営委員会
- ・大阪精神障害者地域生活支援連絡協議会

- ・箕面市生活困窮者自立支援事業推進協議会

5 職員研修実施状況

(1) 職場研修

- ・(社福)風媒花との合同研修
- ・(社福)風媒花との現場研修
- ・差別解消法に関する研修
- ・就労継続支援B型事業所現場研修(パオみのお職員対象)
- ・社会福祉法の改正に関する研修
- ・パワーハラスメントに関する研修
- ・施設コンフリクトに関する研修
- ・虐待防止に関する研修

(2) 主な参加研修

① 資格取得研修

- ・サービス管理責任者研修(介護)
- ・相談支援従事者初任者研修

② 業務能力開発のための研修

- ・感染症予防対策講習会
- ・新人職員のためのサービスマナーセミナー
- ・大阪精神障害者地域生活支援連絡協議会定例会(計3回)
- ・大阪精神障害者地域生活支援連絡協議会新任者研修(計2回)

③ 人権問題及びその他の研修

- ・大阪府障がい者虐待防止・権利擁護研修
- ・公正採用選考人権啓発推進新任・基礎研修

パオみのお(相談支援事業)事業報告

1 概要

障害福祉サービスを申請する全ての障害者が対象となるサービス等利用計画の作成については、28年度より引き続き、新規受任をストップしているため計画作成件数とモニタリング件数は減少している。

委託相談支援事業については、前年度に引き続き、相談件数は減少している。

地域移行・定着支援については、個別の支援件数は0となった。社会的入院解消に向けて、個別支援の強化だけでなく、社会的入院患者の掘り起こしと地域の受入体制整備への取り組みが必要である。

2 特筆すべき事項と課題

- (1) 計画相談における計画作成件数及びモニタリング件数については、29年度の職員体制では、現状維持が精一杯な状況だった。
- (2) 地域移行・定着支援については、29年度より大阪府が配置する地域精神医療体制整備広域コーディネーターと連携しながら、基幹相談支援センターと連携して、地域自立支援協議会地域移行・定着支援部会で取り組んできたが、対象者が挙がらず、実績は0となった。
- (3) 委託相談件数の減少については、計画相談の新規受任をストップしていることと、マンパワーの不足が影響している。相談内容では、福祉サービスの利用に関する相談の比率が高いが、不安の解消・情緒安定に関する相談が増えている。また、地域生活サポート事業については、24時間支援が激減した。

3 今後について

- (1) 計画相談については、新年度体制のもと、5月より新規受任を再開する予定である。また、必要に応じてモニタリング頻度を高める。
- (2) 地域移行・定着支援については、引き続き、地域精神医療体制整備広域コーディネーター、基幹相談支援センターと連携して取り組む。また地域の基盤整備に関しては、地域自立支援協議会地域移行・定着支援部会で取り組むこととなる。
- (3) 委託相談支援事業、生活サポート事業については、32年度末までの地域生活支援拠点の整備に向けて、見直しははかられる予定である。

4 主な活動実績

(1) 計画相談支援事業(指定特定相談支援事業) (単位:件)

| | 29年度 | 28年度 | 前年度比 |
|-------------|------|------|-------|
| サービス等利用計画作成 | 93 | 99 | 93.9% |
| モニタリング | 180 | 260 | 69.2% |

(2) 地域相談支援事業(指定一般相談支援事業) (単位:件)

| | 29年度 | 28年度 | 前年度比 |
|--------|------|------|------|
| 地域移行支援 | 0 | 4 | 0% |
| 地域定着支援 | 0 | 0 | 0% |

(3) 相談支援事業実績(箕面市地域生活支援事業) (単位:件)

| | 29年度 | 28年度 | 前年度比 |
|----------|-------|-------|-------|
| 相談支援 | 2,583 | 3,664 | 70.5% |
| 地域生活サポート | 95 | 242 | 39.3% |

パオみのお(地域活動支援センター)事業報告

1 概要

前年度と比較すると新規登録者数が倍増した。新規登録者の転機については、就労系事業所の利用が始まった利用者が3分の1。パオみのおへの通所を始めた利用者が2分の1であり、昨年度とは異なる傾向だった。

2 特筆すべき事項と課題

- (1)障害種別は多様化しており、特に発達障害、知的障害のある方の利用が増えている。
- (2)就労への意向が強い利用者は、就労系の事業所へ比較的短期間で移行されている。
- (3)就労系事業所等につながりにくい利用者においては、サロン利用を中心に当事者活動やレクリエーション等の余暇活動関連プログラムを活用して、日常生活の基盤作りを図っている。
- (4)グループワーク事業については、月2回の活動が定着し新規利用者についても安定した参加が認められた。

3 今後について

- (1)外出レクリエーションについては、法人の全体レクリエーションとメリハリをつけて実施する。
- (2)多様化する利用者ニーズに対応するため、内部研修の実施や外部研修の積極的活用により職員育成に努める。

4 主な活動実績

(1)当事者活動支援 69人(168人)

カメカメクラブ、魁スポーツ推進振興クラブ、カチカチクラブ、お菓子クラブ、当事者のみの外出レク（梅田ツアー）等

(2)レクリエーション・プログラム活動 76人(133人)

- ①レクリエーション：一泊旅行、とれとれクラブ（釣り）、花見、外食ショッピングツアー等
- ②プログラム：パソコン教室、DVD鑑賞会、鍋パーティー等

(3)独自事業

- ①グループワーク事業 延利用者数 107人（92人）

②食事作り事業 延利用者数 346人(373人)

③送迎事業 延利用者数 36人(70人)

※(カッコ)内は昨年度実績

5 利用者状況

(1)利用実績

| | 29年度 | 28年度 | 前年比 |
|-------------|--------|--------|-------|
| 延べ利用者数 | 3,059人 | 3,452人 | 88.6% |
| 開所日数 | 307日 | 307日 | 100% |
| 1日あたり平均利用者数 | 9.9人 | 11.2人 | 88.4% |

(2)登録者数

平成30年3月31日現在(単位:人)

| | 29年度 | 28年度 | 前年比 |
|--------|------|------|--------|
| 男性 | 164 | 159 | 103.1% |
| 女性 | 115 | 111 | 103.6% |
| 合計 | 279 | 270 | 103.3% |
| 新規登録者数 | 19 | 7 | 271.4% |

(3)障害者福祉手帳所持者数

平成30年3月31日現在(単位:人)

| | 登録数 | 平均年齢 | 1級 | 2級 | 3級 | その他 | 重複 | なし |
|----|-----|------|----|-----|----|-----|----|-----|
| 男性 | 164 | 45.5 | 6 | 74 | 14 | 14 | 3 | 59 |
| 女性 | 115 | 44.9 | 4 | 44 | 12 | 4 | 2 | 53 |
| 合計 | 279 | 45.2 | 10 | 118 | 26 | 18 | 5 | 112 |

かたばみ寮(共同生活援助)事業報告

1 概要

平成29年度は、事業実施上大きな変更は無かったが、内科的疾患での緊急対応や、サポートの必要な利用者が続出した。利用者の高齢化が進んでいることから、成人病の予防や早期発見のためのサポートの必要性を痛感した。

また、一般就労した利用者や、新生活に移行する利用者もあり、関係機関と連携をとりながら、サポートを行った。

2 特筆すべき事項と課題

(1)退居者が1名あったが、グループホームを活用して病状の安定や自立に向けた取り組みをされて、希望する生活に移行された。

(2)30年度には、1名の退去が予定されている。

(3)個別支援計画については、年に1度の計画作成と半年に1回のモニタリングを行っている。昨年度に引き続き、日中活動先の就労継続支援B型事業所及び地域活動支援センターとの連携強化を図りつつ計画を作成するよう留意した。

(4)利用者の障害種別が精神障害だけでなく知的障害や発達障害など多様化しているとともに利用者の高齢化も進んでいる。

(5)地域移行支援対象者にとってグループホームは、退院後の地域定着をすすめる上でも有効な社会資源であるため、退院後の生活の場として、さらに拡充する必要性が高まっている。

3 今後について

(1)退居に伴う空室の発生については、一旦グループホーム内で居室の移動等の調整を行った後で新入居者を受け入れる予定である。

(2)個別支援計画の目標に達していない利用者へのアプローチを関係施設、関係機関と連携をとりながら強化する。

(3)障害種別の多様化と利用者の高齢化により、支援力の向上・強化が求められている。世話人・生活支援員の体制を見直すとともに、内部研修の実施や外部研修への参加を積極的に行っていく。

(4)30年度より、新たな世話人が配置される。きめ細かな対応が行えるよう体制を整える。職員の変更は、利用者の心理状態に大きな影響を及ぼす可能性があるため、引き続き世話人、生活支援員の資質向上に努める。

4 利用者状況(平成30年3月31日現在)

①利用者数(単位:人)

| | 定員 | 利用者 |
|---------|----|-----|
| かたばみ寮 | 2 | 2 |
| 第2かたばみ寮 | 4 | 2 |
| ぶなの木荘 | 5 | 4 |
| 第2ぶなの木荘 | 3 | 3 |
| 合計 | 14 | 11 |

②利用者の特性

| | | |
|--------|-----------|-----|
| 平均年齢 | 53.7 歳 | |
| 平均在籍年数 | 9 年 11 か月 | |
| 障害支援区分 | 区分 1 | 1 人 |
| | 区分 2 | 2 人 |
| | 区分 3 | 6 人 |
| | 区分 4 | 2 人 |

③利用者の日中活動先(単位:人)

| | |
|--------|---|
| もみじの家 | 4 |
| あっとほーむ | 4 |
| シエスタ | 0 |
| 就労 | 2 |
| その他 | 1 |

生活介護もみじの家事業報告

1 概要

就労継続支援B型事業所として、安全な就労環境を確保しつつ工賃向上が見込める主力作業のあり方を検討した結果、「ゆっくりした生活リズムのなかで仲間と楽しめる居場所」を新しいもみじの家のコンセプトにして、平成29年4月1日から障害者総合支援法に基づく生活介護事業所に事業転換した。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 日中活動支援

日中活動プログラムについては、週1回のミーティングにおいてプログラム内容を丁寧に説明したり、利用者の発案を促すなど、利用者が主体となって活動内容を決定できるように努めた。

就労継続支援B型から事業転換して初年度であるため、箕面市指定ごみ袋製袋作業を中心とする作業活動がプログラムの半分を占める内容となった。

利用者の多くが就労継続支援B型からの継続利用であるため、レクリエーションよりも作業活動の方が利用割合(作業55%・レク45%※)が多かった。

個別支援計画を作成し、年2回の定期面談を通して具体的な目標や取り組みを検討した。その結果、利用日数を増加したり、より長時間の利用につながるなど活動意欲の向上につながった。

※平成30年3月サービス分実績

(2) 地域生活支援

利用者が居住の場から安心して通所するための送迎サービスについて、徐々に送迎サービスの利用ニーズが高まってきており、利用者ニーズを考慮した送迎ルート調整と送迎体制(車輛及び職員体制)の確保が課題である。

日常生活において保清が苦手な利用者を対象とした入浴サービスについては、昨年度にシャワー室の整備を完了したが、整備時期が冬季であり利用は低調だった。

(3) その他

生活介護に転換してからも、就労ニーズへの対応は十分に想定できるため、これまでの就労継続支援B型で培った支援技術を生かして、関係機関と連携を図りながら有効な支援を提供する必要がある。

精神障害者理解促進事業ハートパークの一環として、萱野北小学校の6年生を対象にもみじの家で自主製品のナイロンタワシの作成を通して交流をした。また、恒例のもみじの家地域交流祭「いっぷく」において、約90名もの地域の来場者で賑わうなか交流を図った。

3 今後について

平成30年度障害福祉サービス報酬改定で新設された「短時間利用減算」について、作業活動のみに参加し終日利用しない利用状況があり課題であるため、参加したいプログラム内容となるように魅力を高める取り組みが必要である。

法人設立前から使用している送迎車両が老朽化しており、更新する必要がある。

※生活介護の利用時間が5時間未満の利用者の割合が全利用者の50%以上の場合は、70%に減算される。

4 主な活動実績

(1) 就労支援事業

①主な就労支援事業収入 ※28年度は就労継続支援B型としての数値

| 事業内容 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比 |
|-----------------|------------|------------|--------|
| 受託事業(箕面市ごみ袋製袋等) | 3,239,666円 | 3,118,991円 | 103.9% |
| その他(自主製品) | 63,426円 | 56,500円 | 112.3% |
| 計 | 3,303,092円 | 3,175,491円 | 104.0% |

②利用者一人当たりの月額平均工賃額 ※28年度は就労継続支援B型としての数値

| 29年度 | 28年度 | 対前年度比 |
|---------|---------|--------|
| 13,097円 | 11,036円 | 118.7% |

(2) 日中活動プログラム

①主な日中活動プログラムの活動実績

| プログラム | 年回数 | 概要 |
|--------|------|--|
| 作業 | 258回 | 箕面市指定ゴミ袋、おみくじ折り、オレンジリボンなど |
| ミーティング | 48回 | プログラム内容及び施設利用ルールなどについて、利用者に説明したり意見を出し合ったりする。 |
| 調理実習 | 23回 | ボランティアグループこころの会と利用者が調理し食事する。 |
| 音楽 | 22回 | ボランティアの方と利用者が器楽演奏と合唱をする。発表の機会も設ける。 |
| 健康教室 | 19回 | 医師及び看護師による健康相談(血圧、脈拍など)及び健康知識の講習会など。 |
| ゲーム | 19回 | カードゲームやボードゲームなどを楽しむ。 |
| 運動 | 12回 | 稲スポーツセンター等の運動施設において、バレーボール・バスケットボール・卓球等に親しむ。 |
| 映画鑑賞 | 11回 | DVDによる映画鑑賞をして感想文を書く。 |
| 地域清掃 | 9回 | 施設周辺地域の公園や道路の清掃活動を行う。 |

※上記の他に、お菓子作り(7)、ウォーキング(7)、卓球(7)、外出(6)、合同レク(6)、茶話会(5)、勉強会(3)など。

②ボランティア・見学・実習参加状況

| | |
|---------------------|-----|
| ボランティア受入れ延べ人数 | 32人 |
| 利用見学及び実習受入れ延べ人数 | 18人 |
| 関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数 | 51人 |
| 萱野北小学校体験実習受入れ延べ人数 | 42人 |
| 精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数 | 4人 |

(2) その他の活動

- ①施設外活動(他市障害福祉サービス事業所交流会、箕面市精神保健福祉ボランティアグループこころの会交流会参加、箕面まつりへの出店参加)
- ②啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク、もみじの家地域交流祭いっぶく)

5 利用者状況

(1) 利用実績総括表

平成30年3月31日現在

| 項目 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比 |
|----------|--------|--------|--------|
| 利用契約者数 | 23人 | 25人 | 92.0% |
| 平均年齢 | 47.3 | 46.4歳 | +0.9歳 |
| 稼働日数 | 251日 | 251日 | 100.0% |
| 延べ利用者数 | 2,836人 | 3,304人 | 85.8% |
| 1日平均利用者数 | 11.3人 | 13.2人 | 85.6% |

※28年度は就労継続支援B型としての数値

(2) 障害者福祉手帳所持状況

平成30年3月31日現在(単位:人)

| | 利用者数 | 2級 | 3級 | B1 | B2 | なし | 重複 |
|----|------|----|----|----|----|----|----|
| 男 | 19 | 16 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 |
| 女 | 4 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 23 | 20 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 |

就労継続支援B型あっとほーむ事業報告

1 概要

個別支援計画において具体的な目標や取り組みを検討し、年2回のモニタリングを通して検証するとともに、関係機関との連携により生活及び就労に係る支援を実施した。

配食サービスでの安定した受注があったため、利用者の作業ペース及び作業内容に配慮した作業機会を提供できた。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 就労支援事業

配食サービスの収入はほぼ横ばいだったが、安定利用する利用者が増えたため、延べ利用者数(総労働時間)が増えるとともに、月額平均工賃額が減った。

一般就労を実現できた利用者が1名、就労継続支援A型事業に移行した利用者が2名おり、それぞれに関係機関と連携した就労支援を実施した。

(2) 個別支援計画

個別支援計画の作成や年2回のモニタリング及び随時の面談を通じて具体的な個別の支援を行った。成果としては、利用者の意思を尊重した短期目標の設定と課題達成のための取り組みを行うことにより、職業準備性の向上がみられ、企業や機関での実習や見学に繋がった。また、計画作成の過程で関係機関との連携が広がった。

3 今後について

就労支援事業について、効率的かつ効果的な事業運営をめざして、必要に応じた業務改善に努め、利用者の生活安定や就労のステップアップに資する事業体系を構築し続けていく必要がある。また、より地域に根ざした活動を行っていきけるよう、地域住民との交流を図り、地域のニーズを把握しつつ、事業経営を進めていく。

新規の利用者の受け入れについては、定員と利用契約者数のバランスを考慮しつつ、必要に応じて箕面市を始め、茨木市や池田市等の近隣の関係機関等への説明を行い、新規利用者の受け入れを行っていく。

4 主な活動実績

(1) 就労支援事業

① 主な就労支援事業収入

| 事業内容 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比 |
|----------------|--------------|--------------|--------|
| 自主製品事業(ビーズ・陶芸) | 1,500 円 | 840 円 | 178.6% |
| 受託事業(もみじの茎切り) | 103,360 円 | 60,980 円 | 169.5% |
| 自動販売機管理 | 135,160 円 | 238,370 円 | 56.7% |
| 配食サービス事業 | 12,575,720 円 | 12,598,690 円 | 99.8% |
| その他(印刷など) | 114,380 円 | 119,550 円 | 95.7% |
| 計 | 12,794,960 円 | 13,018,430 円 | 99.2% |

② 利用者一人当たりの月額平均工賃額

| 29年度 | 28年度 | 対前年度比 |
|----------|----------|-------|
| 16,306 円 | 21,501 円 | 75.8% |

③ ボランティア・見学・実習参加状況

| | |
|---------------------|------|
| 利用見学及び実習受入れ延べ人数 | 17 人 |
| 関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数 | 11 人 |
| 精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数 | 3 人 |

(2) その他の活動

- ① 施設外活動(他市障害福祉サービス事業所見学会、箕面市精神保健福祉ボランティアグループこころの会交流会参加、市内お祭りへの出店参加)
- ② 啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク、もみじの家地域交流祭「いっぶく」への参加)
- ③ 余暇活動(あつとほ一む忘年会、新年会、茶話会、外出レクなど)
- ④ 専門指導研修(調理師による利用者向け、職員向け講習会)

5 利用者状況

(1) 利用実績総括表

平成30年3月31日現在

| 項目 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比 |
|----------|--------|--------|--------|
| 利用契約者数 | 31人 | 30人 | 103.3% |
| 平均年齢 | 45.1歳 | 43.9歳 | +1.2歳 |
| 稼働日数 | 249日 | 246日 | 101.2% |
| 延べ利用者数 | 3,888人 | 3,267人 | 119.0% |
| 1日平均利用者数 | 15.6人 | 13.5人 | 115.6% |

(2) 障害者福祉手帳所持状況

平成30年3月31日現在(単位:人)

| | 利用者数 | 1級 | 2級 | 3級 | B1 | B2 | 重複 | なし |
|----|------|----|----|----|----|----|----|----|
| 男 | 20 | 0 | 13 | 2 | 2 | 0 | 0 | 3 |
| 女 | 11 | 0 | 10 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 |
| 合計 | 31 | 0 | 23 | 2 | 2 | 2 | 1 | 3 |

就労継続支援B型シェスタ事業報告

1 概要

就労支援事業については、主力の焼き菓子販売の大口受注減少が原因で収入面では思うように伸びなかった。しかし、利用者の入れ代わりは多かったものの、安定通所できる利用者が増えたことで生産量も増え、利用者一人当たりの平均工賃額は増加することができた。

利用者の支援に関しては、個別支援計画を作成し、年2回のモニタリングをすることによって具体的な目標や取り組みを検討し、効果的な就労支援の提供に努めた。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 就労支援事業

優先調達事業からの受注もなかったことや新たな販売先の開拓ができず、全体的に就労支援事業収入が思うように伸びなかった。

商品開発については、季節限定商品の製造に取り組むとともに、専門家からの指導を受け新商品の開発を行った。

利用者が作業しやすい安全な環境づくりに工夫して取り組み、各々の体調やニーズ等をもとに作業分担、作業時間等について、改善を続けることが重要である。

(2) 個別支援計画

利用者個人の面談を通し、個別支援計画の作成と年2回のモニタリングを行い、具体的な個別の支援を行った。このことによって、短期的な目標設定と利用者の意思確認を行い、他機関への実習や見学、関係機関との連携強化といった成果につながった。モニタリング以外でも、都度必要に応じて面談等を行い、利用者の日常生活の悩みの解決を行った。

(3) 利用者の状況

利用者の入れ替わりがあり契約者数は減少したが、利用時間や日数を増やし、目標に向けて体力作りや生活のリズム作りが順調に向上している利用者も多かったため、平均利用者数は28年度より多かった。

3 今後について

喫茶の利用客を増やすために、チラシの作成やポスティングなどを行う一方、就労支援事業としてだけでなく、地域住民との交流や啓発活動としてガレッジセー

ルの開催など工夫を凝らしながら、地域に根ざした活動を行う。また、喫茶のメニューにおいても、新たに箕面産ゆずを使用したケーキセットを追加する等の充実を図る。

商品開発については、新商品及び季節限定商品の研究開発、リサーチや顧客満足度調査などに取り組むとともに、環境の変化を苦手とする利用者が新商品の製造作業にそれぞれのペースで取り組めるよう、作業支援の強化も行う必要がある。

焼き菓子の新商品開発や喫茶メニューの充実によって就労支援事業の内容が拡充することで、利用者の作業内容も多様化し職域拡大が想定されるため、新規利用者の受け入れについても関係機関等へのチラシ配布などを行いながら進めていく。

4 主な活動実績

(1) 就労支援事業

① 主な就労支援事業収入

| 事業内容 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比 |
|----------------|-------------|-------------|--------|
| 焼き菓子販売 | 4,298,110 円 | 3,898,917 円 | 110.2% |
| 委託事業(もみじの茎切り等) | 240,000 円 | 240,000 円 | 100.0% |
| 計 | 4,538,110 円 | 4,138,917 円 | 109.6% |

② 利用者一人当たりの月額平均工賃額

| 29年度 | 28年度 | 対前年度比 |
|----------|----------|--------|
| 12,802 円 | 12,092 円 | 105.9% |

③ ボランティア・見学・実習参加状況

| | |
|---------------------|------|
| ボランティア受入れ延べ人数 | 3 人 |
| 利用見学及び実習受入れ延べ人数 | 23 人 |
| 関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数 | 9 人 |
| 精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数 | 2 人 |

(2) その他の活動

- ① 施設外活動(市内小学校イベント参加、箕面市精神保健ボランティアグループこころの交流会参加、春のバザー、市内お祭りへの出店参加)
- ② 啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク、もみじの家地域交流祭「いっぷく」)
- ③ 余暇活動(なかよし会年 2 回実施)

5 利用者状況

(1) 利用実績総括表

平成30年3月31日現在

| 項目 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比 |
|----------|--------|--------|--------|
| 利用契約者数 | 22人 | 23人 | 95.7% |
| 平均年齢 | 42.6歳 | 43歳 | -0.4歳 |
| 稼働日数 | 246日 | 246日 | 100.0% |
| 延べ利用者数 | 3,199人 | 2,820人 | 113.4% |
| 1日平均利用者数 | 13.0人 | 11.4人 | 114.0% |

(2) 障害者福祉手帳所持状況

平成30年3月31日現在(単位:人)

| | 利用者数 | 1級 | 2級 | 3級 | A | B1 | B2 | 身体 3級 | 重複 |
|----|------|----|----|----|---|----|----|----------|----|
| 男 | 8 | 0 | 7 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 女 | 14 | 0 | 9 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 合計 | 22 | 0 | 15 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |